

2002年5月17日

株式会社 新生銀行
イービーエヌ・アムロ・バンク・エヌ・ブイ

新生銀行とイービーエヌ・アムロ、貿易業務で提携

～(邦銀初)新生銀行がWEBベースの貿易取引ツール"TradeNavigator"のサービスを開始～

株式会社新生銀行(代表取締役社長:八城政基、以下「新生銀行」)とイービーエヌ・アムロ・バンク・エヌ・ブイ(本社:オランダ、代表者:R.フルーニンク、以下「イービーエヌ・アムロ」)はこのたび、貿易分野に於ける業務提携を発表致しました。今回の提携により、新生銀行は、イービーエヌ・アムロの世界有数のグローバルネットワーク、貿易業務の実績、そして最先端のIT技術を最大限に活用し、日本のお客さまに今まで以上に付加価値の高い貿易商品とサービスの提供が可能になります。

提携の成果の第一弾として、新生銀行は6月より、イービーエヌ・アムロの技術支援を得て開発したWEBベースの貿易取引ツール"TradeNavigator"のサービスを開始致します。従来、貿易取引の決済は膨大な書類の作成とやりとりが必要な、手間と時間がかかる煩雑な作業でした。"TradeNavigator"は、WEBベースで信用状(Letter of Credit, LC)の開設・接受、条件変更等を可能とするもので、また、残高、取引履歴、決済状況など、お客さまの信用状にかかわる全ての情報のデータベース化により、オンラインでの情報閲覧、レポート作成が可能となります。これによりお客さまは、貿易事務のコスト削減、手続きの迅速化、処理ミス低減を図ることができま

す。

両行は更に、イービーエヌ・アムロのノウハウ提供による貿易商品の共同開発、新生銀行の貿易事務のイービーエヌ・アムロへのアウトソース、イービーエヌ・アムロによる専門家派遣など、多岐に亘って提携してまいります。

イービーエヌ・アムロは、175年以上にわたる貿易業務の経験を持ち、現在 Global Trade and Advisory 部門は、全世界のオフィスを通じ、地域毎、お客さま毎のニーズに合った商品、ソリューション、最先端の技術を提供しています。今後新生銀行とイービーエヌ・アムロは、本提携により、サービスの向上と充実を図ると共に、新たな顧客の開拓を目指してまいります。

【業務提携の概略】

1. インターネット貿易取引ツール"TradeNavigator":
新生銀行は、2002年6月より、イービーエヌ・アムロの技術支援により開発した貿易取引ツール"TradeNavigator"のサービスを開始致します。これは邦銀初のサービスであり、お客さまは、インターネット上での輸入信用状開設依頼、輸出信用状接受、貿易取引レポート閲覧が可能になります。なお"TradeNavigator"は今後更に機能を拡大していく予定です。
2. 貿易商品の共同開発:
イービーエヌ・アムロは、常に最新のノウハウを新生銀行に提供、両者で商品の共同開発を行います。これにより、新生銀行は貿易商品のラインアップ拡充を図ります。
3. 貿易事務のアウトソーシング:
イービーエヌ・アムロは、新生銀行よりカスタマーケア機能を含む貿易事務を請け負います。これにより、新生銀行はイービーエヌ・アムロのグローバルネットワークを活用し、貿易事務の効率的な処理が可能になります。カスタマーケア機能の移管まで踏み込んだ貿易事務のアウトソースは邦銀初の試みとなりますが、新生銀行は引き続きお客さまとの取引当事者であり営業窓口となります。
4. イービーエヌ・アムロの専門家派遣:
両行の業務提携にあたり、イービーエヌ・アムロは新生銀行に専門家を派遣し、商品開発、セールスプロモーションなどに於いて、共同で作業を行います。

【株式会社新生銀行について】 <http://www.shinseibank.co.jp>

株式会社新生銀行(旧・日本長期信用銀行)は、欧米の一流金融機関等の出資する投資組合ニュー・LTCB・パートナーズ・C.V.が新たな株主となり、2000年3月に新銀行としてスタートいたしました(2000年6月に新生銀行に行名変更)。新生銀行では、従来の銀行業務に加え、リテール業務と投資銀行業務を強化することにより、健全で収益力の高い銀行を目指しています。資本金 4,512 億円、従業員数 2,123 人、総資産 9 兆 535 億円、資金量 6 兆 1,717 億円。(2001/9 現在)

【イービーエヌ・アムロ・バンク・エヌ・ブイについて】

イービーエヌ・アムロ・バンク・エヌ・ブイ(イービーエヌ・アムロ)は、オランダに本拠を置く世界有数の金融機関であり、総資産残高は 6,200 億米ドルにのぼり、世界 60 カ国で事業を展開しております。また、世界の格付機関からは高い信用格付(スタンダード&プアーズ:”AA”、ムーディーズ:”Aa2”)を取得しており、強固な財務基盤を誇ります。イービーエヌ・アムロでは、現在、以下の 3 つの戦略ビジネス・ユニットを中心に事業活動を行っています。

1. ホールセール・クライアント — コーポレート・ファイナンス関連サービス、投資銀行業務
2. コンシューマー及びコマースナル・クライアント — リテール金融、中小企業向け金融サービス
3. プライベート・クライアント及びアセット・マネジメント — プライベート・バンキング、資産運用業務